



鶴ヶ島市



保存版

防災

ハザードマップ

Tsurugashima City Disaster Prevention Hazard Map

大切な命を守るために



地震



水害



目次

避難・備え・注意

ハザードマップの使い方	1
自助・共助・公助	2
避難の考え方	3
避難所一覧	4
避難時の心得	5
自主防災組織の役割	6
いつも備えておくもの	7-8
避難所生活での注意点	9

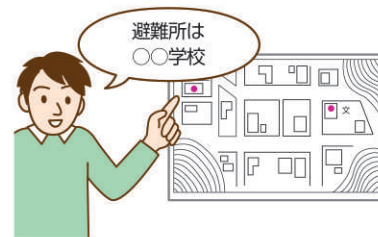
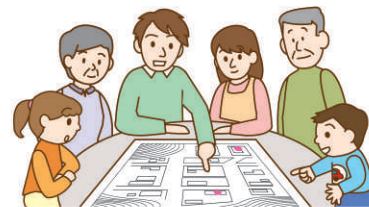
地震

我が家の備え(地震対策)	10
震災時の注意	11-12
揺れやすさマップ	13
建物倒壊危険度マップ	14

ハザードマップの使い方

● 災害が起こる前(平常時)

- ☐ あなたの家で想定される災害を確認しておきましょう。
- ☐ 想定される災害(地震・風水害)に応じて家族で避難先を決めておきましょう。
- ☐ 非常用持出品の準備や家具の転倒防止などの防災対策をしておきましょう。
- ☐ 避難先までの経路を決めておきましょう。
- ☐ 家族の集合場所や連絡方法を確認しておきましょう。
- ☐ 情報収集・安否確認の方法を確認しておきましょう。
- ☐ 家族で決めたことを12ページの「我が家の防災メモ」に書き込んでおきましょう。



● 災害が発生したとき、又は発生するおそれがあるとき(緊急時)

- ☐ 大雨や地震が発生したときは、テレビ・ラジオなどで情報収集し、12ページの「我が家の防災メモ」を参考に避難先や家族の決まりごとなどを確認しましょう。



風水害

鶴ヶ島市の水害の特徴	15
「風水害避難行動判定フロー」を確認しよう!	16
5段階の警戒レベルと防災情報	17
風水害時の避難で重要なこと	18

内水ハザードマップ

内水ハザードマップ	19-26
-----------	-------

災害時の情報収集	裏表紙
----------	-----

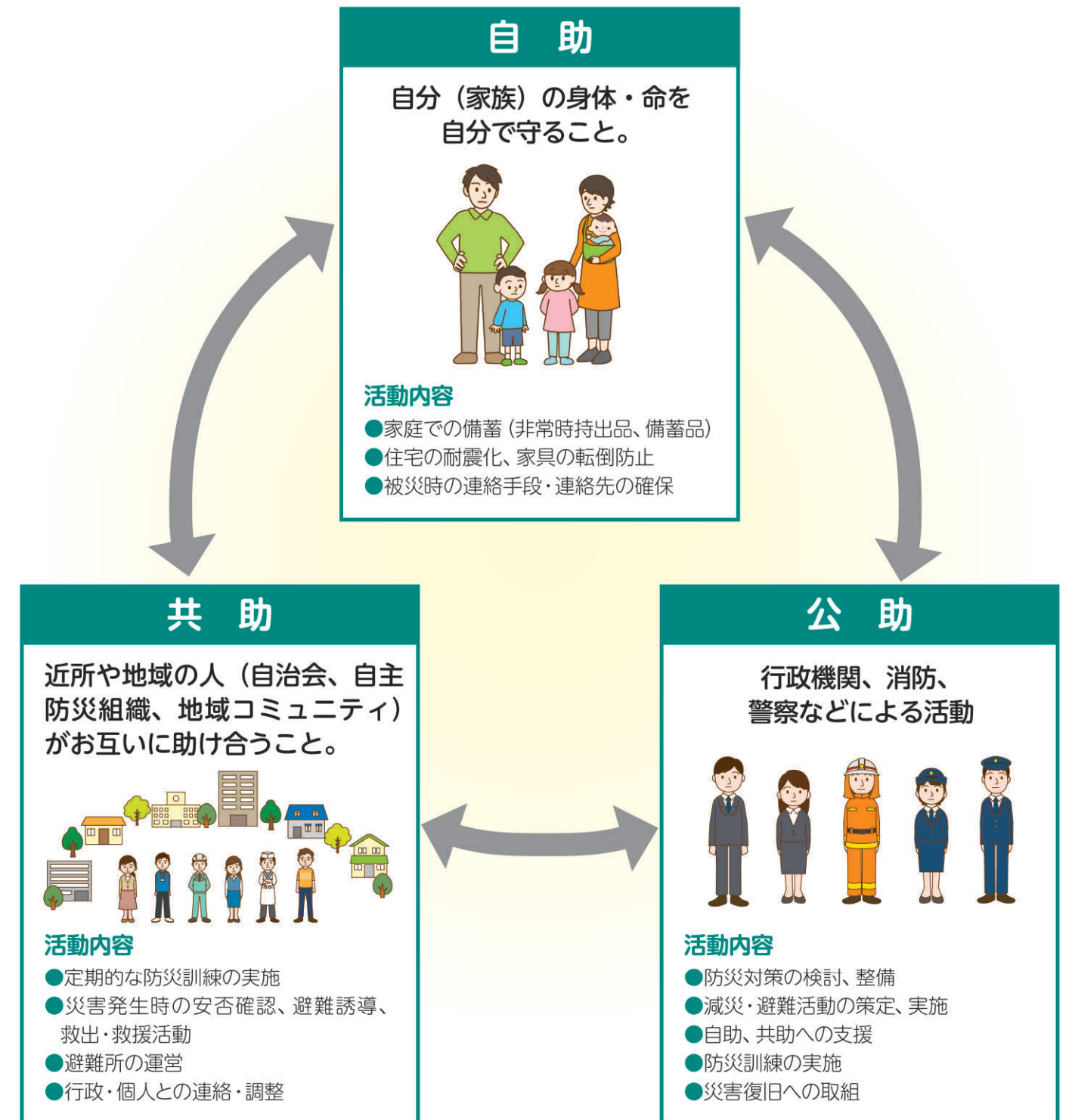


自助・共助・公助

防災・減災に当たっては、住民一人ひとりが「自分の命は自分が守る」という自助の取組、隣近所の住民がお互いに安否確認や避難の呼び掛けをする共助の取組、市の防災対策や消防・警察による救助活動などの公助の取組の3つが推進され、防災力を高めることが極めて重要です。

自助・共助・公助の活動

大規模災害の発生直後は、市や消防、警察等(公助)が迅速な救出・救助・消火活動を行うことは難しいという現実があります。被害を拡大させないためにも、自分たち(自助)、周囲の人たち(共助)が率先して行動することが大切です。



避難所開設の考え方



- 「避難」とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人は、避難所に行く必要はありません。
- 避難先は、小・中学校や市民センターだけではなく、自身と自宅の安全が確保できたら、自宅で生活続ける「在宅避難」をしましょう。また、安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。

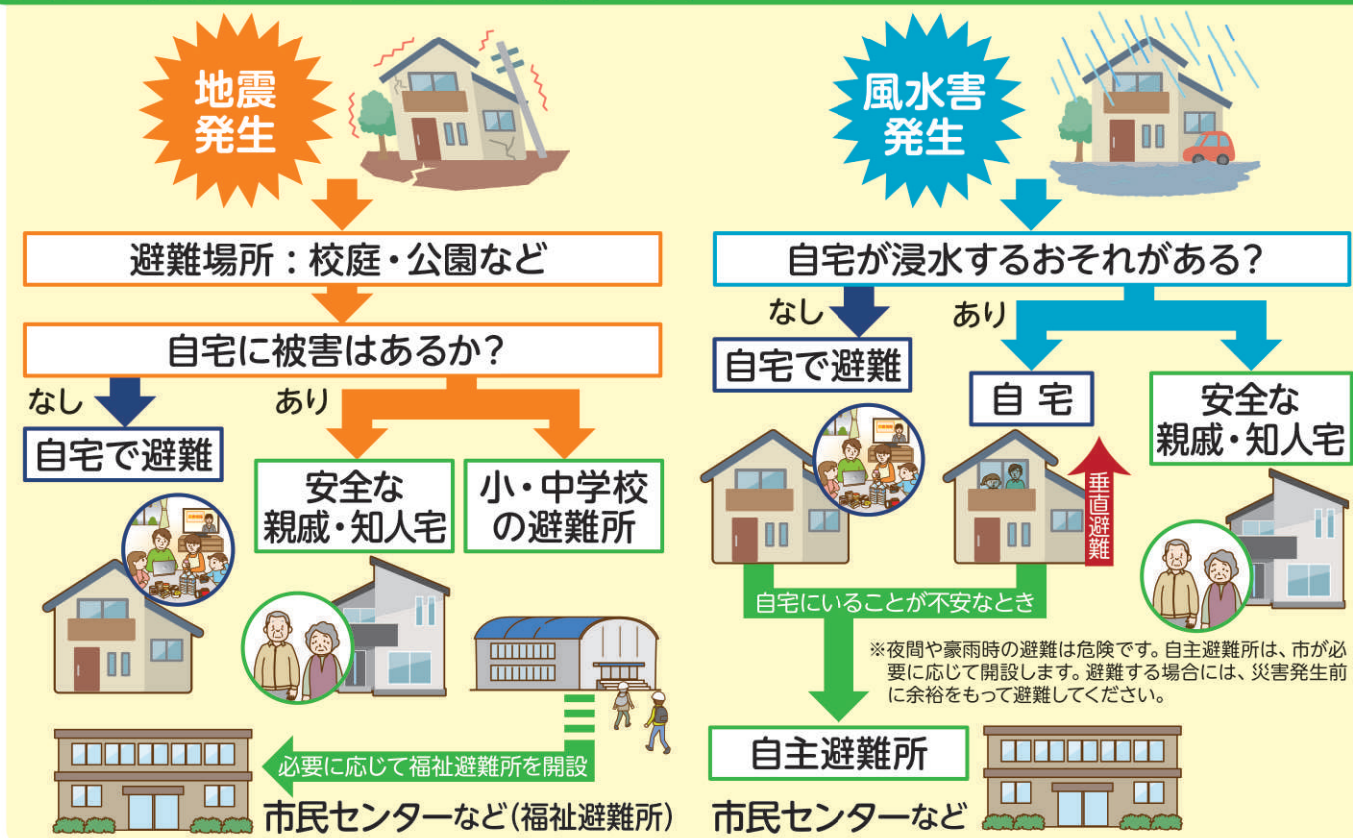
地震災害など

地震災害など大災害時では、市内全体が一斉に被災し、地域住民が一斉に避難することが想定されるため、多くの住民が避難できる「市内小・中学校の体育館」を中心に避難所として開設します。その後、必要に応じて、市民センターなどを福祉避難所として開設します。

風水害など

台風などの風水害時では、市内には山や大きな河川がないため、家屋が流され全壊するような被害は想定されていません。しかし、水路近くや周辺より低い場所で浸水する地域が想定されています。そのため、自宅にすることが不安な方々のために、和室や空調、給湯設備がある「市民センター」を中心に自主的に避難できる自主避難所を必要に応じて準備します。

災害の種類によって避難する場所が異なります。



避難場所

災害が発生し、又は発生するおそれがある場合にその危険から逃れるために避難する場所です。まず、避難場所（校庭や公園）に逃げてください。避難所に避難するのは、その後になります。

避難所

災害の危険性があり、避難場所へ避難してきた住民等が災害の危険性がなくなるまでの間滞在し、又は災害により家に戻れなくなった住民等が滞在するための施設です。

福祉避難所

避難所での共同生活に支障のある人（要配慮者）のために開設される施設です。

自主避難所

自主避難所とは、自宅にすることが不安なときに自主的に避難する際の施設です。台風や大雨などの際に、市が避難所開設の可否を判断し開設します。

一時滞在施設

鉄道などが運行休止となり、自宅に帰れない人が一時的に滞在する施設です。市が一時滞在施設開設の可否を判断し開設します。

避難所マップ



市が指定している避難所・避難場所・一時滞在施設一覧

●…該当あり
▲…状況に応じて避難所になることがあります。

No.	施設・場所名	住所	避難所	避難場所	福祉避難所	自主避難所	一時滞在施設
1	鶴ヶ島第一小学校	脚折1855	●	●	—	—	—
2	鶴ヶ島第二小学校	鶴ヶ丘358-1	●	●	—	—	—
3	新町小学校	新町4-25-1	●	●	—	—	—
4	杉下小学校	五味ヶ谷251	●	●	—	—	—
5	長久保小学校	脚折町4-12-1	●	●	—	—	—
6	栄小学校	富士見4-26-1	●	●	—	—	—
7	藤小学校	藤金330	●	●	—	—	—
8	南小学校	南町1-26-1	●	●	—	—	—
9	鶴ヶ島中学校	脚折1868-5	●	●	—	—	—
10	藤中学校	藤金272-1	●	●	—	—	—
11	富士見中学校	富士見2-36-1	●	●	—	—	—
12	西中学校	下新田266	●	●	—	—	—
13	南中学校	南町1-27-1	●	●	—	—	—
14	県立鶴ヶ島清風高等学校	高倉946-1	▲	●	●	—	—
15	富士見市民センター	富士見5-11-1	▲	●	●	●	—
16	大橋市民センター	太田ヶ谷883	▲	●	●	●	—
17	西市民センター	新町4-17-8	▲	●	●	●	—
18	東市民センター	五味ヶ谷202	▲	●	●	●	—
19	南市民センター	鶴ヶ丘375-1	▲	●	●	●	—
20	北市民センター	脚折2171-1	▲	●	●	●	—
21	女性センター	脚折1922-7	▲	●	●	●	—
22	鶴ヶ島海洋センター	鶴ヶ丘54-4	▲	●	—	—	○
23	脚折近隣公園	脚折町2-24	—	●	—	—	—
24	富士見中央近隣公園	富士見4-1	—	●	—	—	—
25	鶴ヶ島南近隣公園	松ヶ丘5-28	—	●	—	—	—
26	若葉駅前出張所	富士見1-2-1	—	—	—	—	○



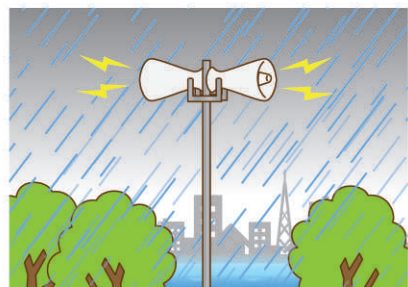
避難時の心得

万が一、避難することになったら、冷静に状況を判断しながら、安全な避難を心掛けてください。

安全に避難しましょう

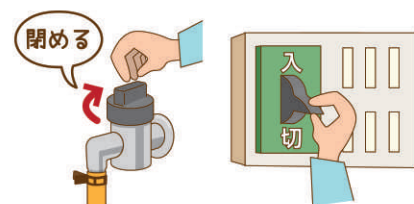
避難の呼び掛けに注意を

市、警察、消防等から呼び掛けがあった場合には、速やかに従ってください。



電気・ガスの始末

電気やガスが復旧した際、出火する危険性がありますので、避難する前には電気のブレーカーを切り、ガスの元栓を閉めましょう。



家族や知人との連絡

公衆電話・FAXなどを使い、避難先や安否情報を伝えましょう。親戚や知人を連絡中継地にしたリ、NTTの災害用伝言ダイヤルや携帯電話の災害用伝言板サービスを利用する方法もあります。(※裏表紙参照)



避難するときは

家族や隣近所の人とも声を掛け合って、避難します。警察や消防、自主防災組織(自治会)のリーダー等の指示があるときは、それに従って避難してください。自転車やオートバイは使用せず、徒歩で避難します。



要配慮者への支援

高齢者や障害者などは、災害時の避難行動や情報収集・避難生活などで、困難な状況に置かれることが多いので、周囲の方々は積極的に支援・協力してください。

※外国人の方は、避難情報等が理解できないおそれがあります。周囲の方が声を掛け、一緒に避難しましょう。



避難所での生活

避難所では、多くの人との共同生活となります。限られたスペースの中での生活となり、食事、トイレ、洗面所など、普段の生活どおりとはいかないため、ルールを作り、お互いに協力し合う必要があります。



避難所は、ホテルなどの宿泊施設とは異なります。避難された方も役割を分担し、避難所運営に関わっていく必要があります。



大災害発生時には、**市の備蓄品だけでは足りません**。住民の皆さん1人ひとりが持参できるものは持参する意識を持ちましょう。



避難所から出るときには、避難所運営者等に行き先や用件等を必ず伝えるようにしてください。



自主防災組織の役割

自主防災組織とは

「自分たちのまちは自分たちで守る」という自覚、連帯感に基づき自主的に結成する組織であり、災害による被害を防止し、軽減するための活動を行う組織です。

自主防災組織の役割

平常時

①防災知識の普及

地域の防災マップの作成、家庭における水、食料、携帯トイレの備蓄の推進、地域の防災イベントの実施をしましょう。



②防災資機材などの整備・管理

ヘルメット、軍手、消火器、スコップ、担架、ハンマー、ボールなどの救助用工具や、発電機、投光器などの整備や管理などを行いましょう。



③防災巡視及び防災点検

ハザードマップを使った危険箇所の把握、燃えやすいものの放置状況、ブロック塀や石垣、看板、自動販売機など倒れやすいものの点検などを行いましょう。



④防災訓練の実施・参加

初期消火訓練、避難誘導訓練、応急救護訓練、情報収集・伝達訓練、避難所開設・運営訓練、炊き出し訓練の積極的な実施・参加をしましょう。



⑤要配慮者の避難支援

自治会長などと協力し、避難行動要支援者名簿※に掲載されている要支援者ごとに安否確認や避難支援を行う避難支援者の割り当てをしておきましょう。



※地域の防災組織からの要請に基づき、協議等を行い、提供しています。

災害時

①情報の収集・伝達活動

市と連絡を取り合い、災害に関する正しい情報を収集し、地域住民に伝達しましょう。



②出火防止と初期消火活動

出火防止のための活動や消火器、バケツリレーなどによる初期消火活動を行いましょう。



③避難所の開設・運営

避難所の開設、避難所施設の状況確認、避難者誘導・受け入れ、避難者の居住場所と業務の割り振りなどを行いましょう。



④救出活動

負傷者や倒壊した家屋などで、下敷きになった人たちの救出・救助活動などを行いましょう。



⑤救護活動など

負傷者の応急手当、救護所への搬送などを行いましょう。



⑥安否確認

隣近所で声を掛け合い、お互いの安否確認をしながら避難所まで避難しましょう。



⑦食料・物資関係

備蓄食料や救護物資の運搬及び配布、炊き出しなどを行いましょう。



※自主防災組織の設立時には、補助金制度があります。【問合せ】危機管理課 電話番号：049-271-1111 (代表)



いつも備えておくもの

在宅避難

避難所で見ず知らずの人と生活するよりも、自宅の安全が確認できたら、住み慣れた自宅で避難生活を送る方が安心です。自宅で避難生活ができるよう日頃から備えておくことがポイントです。



水・食料品は最低3日分、できれば7日分を用意しておきましょう。水は1日1人3リットルが目安です。

● 家に備えておくもの

非常食・水

食品は消化が良く、栄養価が高いもので、あまり水を飲まなくてよいものやそのまま食べられるものを用意しましょう。
※乳幼児、高齢者、アレルギーがある方は、対応できるものを用意しましょう。

トイレ・衛生用品

トイレを我慢するために食事や水分を取らない方が増えます。そのため、病気に罹ったり、体力・免疫力の低下につながります。トイレを我慢しないように、携帯トイレ、ティッシュ、ウェットティッシュ、ゴミ袋を用意しましょう。

照明器具・コンロ

用意する優先順位はヘッドライト⇒ランタン⇒懐中電灯です。両手が見えるようになるヘッドライトは避難時の生活でも重宝します。予備電池、モバイルバッテリーなど充電できるものも用意しましょう。カセットコンロは、非常食などの食材を調理するための必需品です。

情報ツール

最新の避難情報や災害情報を収集できるようスマートフォン、モバイル機器、ラジオ、イヤホンなどを用意しておきましょう。



避難所へ避難

自宅が被災した場合は、避難所で生活することになります。支援物資が届くまでには時間がかかります。常備薬や使いなれた日用品などをすぐ持ち出せるよう、非常用持出品としてまとめておきましょう。

● 避難するときに持ち出すもの

現金	通帳・印鑑・カード	マスク・消毒液	常備薬・お薬手帳	携帯ラジオ	非常食・水
タオル・雨具	体拭きウェットタオル	歯ブラシ	スマートフォン・モバイルバッテリー	携帯トイレ	下着・着替え

● 女性に用意しておいてほしいもの

生理用品 (普通・長時間向け用)	おりものシート	サニタリーショーツ	防犯ブザー・ホイッスル	中身が見えないゴミ袋	くし・ヘアゴム

● 赤ちゃんがいる家庭に必要なもの

おむつ	おしりふき	哺乳瓶	水筒	粉ミルク・液体ミルク	離乳食
母子手帳	おもちゃ・絵本	抱っこひも	おやつ	爪切り	子ども用の靴

● 高齢者がいる家庭に必要なもの

大人用おむつ・失禁パッド	携帯用つえ	入れ歯用の洗浄剤	補聴器	老眼鏡	おかゆなど食べやすい非常食

時短にも非常時にも！ パッククッキング

パッククッキングとは、耐熱性のポリ袋に食材を入れ、袋のまま鍋で湯せんする調理方法です。普段の食品が使えること、加熱に使った水が汚れないので再利用できること、袋に入れたまま食器にかぶせれば食器が汚れない、などのメリットがあります。

様々なレシピがインターネット上で公開されていますので、お気に入りを探してみてください。



農林水産省 HP
<https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/foodstock/imadoki/imadoki01.html>

ローリングストック法とは？

普段使っている物を常に少し多めに備えておく取組です。古いものから使って、使った分を買い足すので、すぐに始めることができます。

災害時に食べ慣れた物を食べることができ、安心につながります。





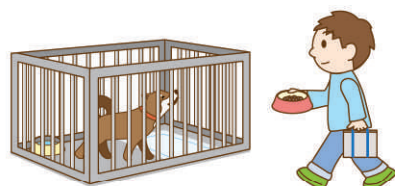
避難所生活での注意点

ペットを連れて避難する場合の注意点 (ペット同行避難)

ペットを連れて避難するときは、動物が苦手な人や動物アレルギーの人にも配慮し、決められたルールに従って生活する必要があります。避難所でペットを世話するのは、飼い主自身です。いざというときの備えを忘れずにしておきましょう。原則、居住エリアでの共同生活はできません。

気をつける点

- ・指定されたスペースでケージに入れて管理しましょう。
- ・エサや排泄物の管理は、飼い主が責任を持って行いましょう。



避難するときの持ちもの

- ・ケージ
- ・ペットフード
- ・水 (5日～7日分)
- ・常備薬
- ・伸縮しないリード
- ・ハーネス
- ・迷子札 (飼い主の連絡先や緊急連絡先)



平常時の備え

- ・ケージに慣れさせておきましょう。
- ・ほかの人や動物に吠えないようにさせるなど、日頃からしつけを心掛けましょう。



避難所では感染症予防に努めましょう

避難所に入る前に

感染の拡大を未然に防ぐことが非常に重要です。避難所に入る前に、発熱の有無など体調チェックを行いましょう。

手洗い、うがいをこまめに

トイレなど共用部分に触れた後は、石けんと水で手洗いをしましょう。水を十分に確保できない場合は、アルコール消毒液などで代用しましょう。



咳エチケットの徹底

飛沫感染の予防のため、咳などが出ているときは、マスクを着用しましょう。

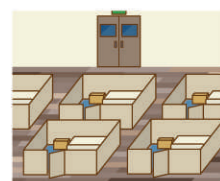


換気の実施

可能な限り、定期的に換気を行いましょう。換気は季節を問わないので、防寒対策も必要です。

居住スペースの確保

避難者同士の距離を保ちましょう。背中合わせに座ったり、段ボールなどの間仕切りを利用すると、飛沫感染の予防になります。



日々の健康状態をチェック

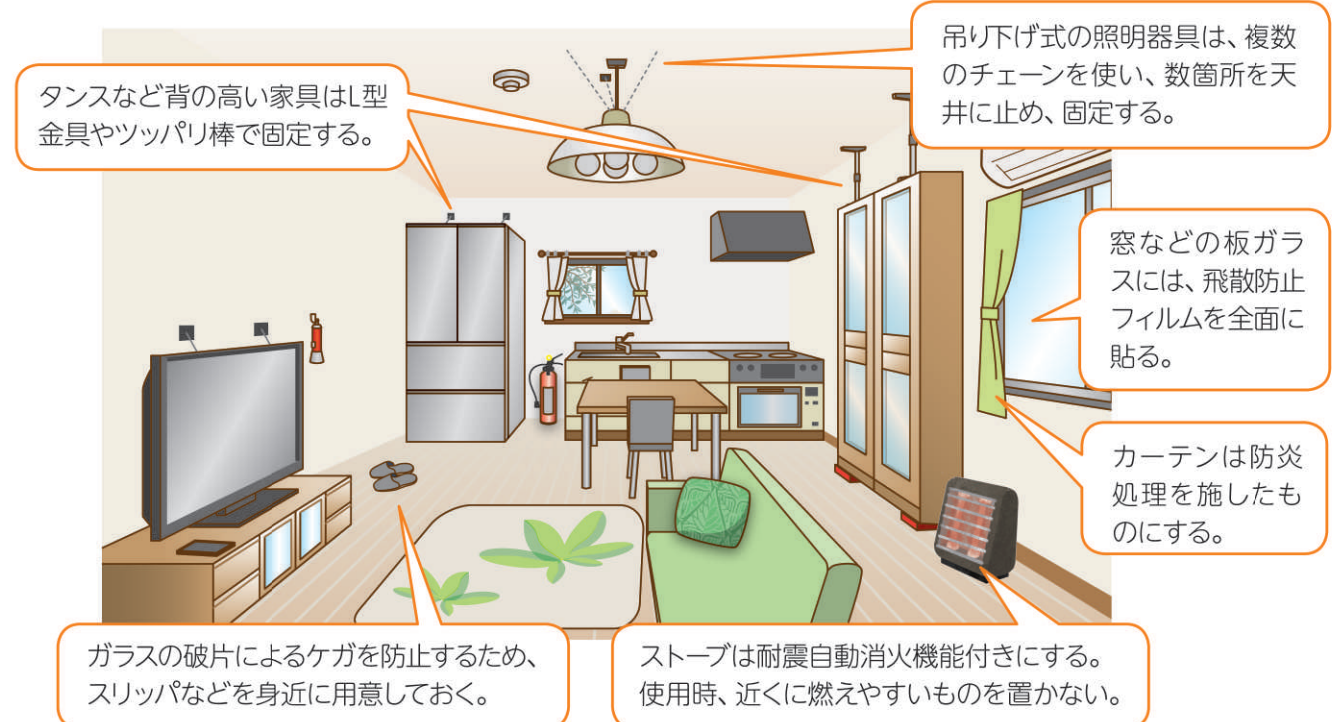
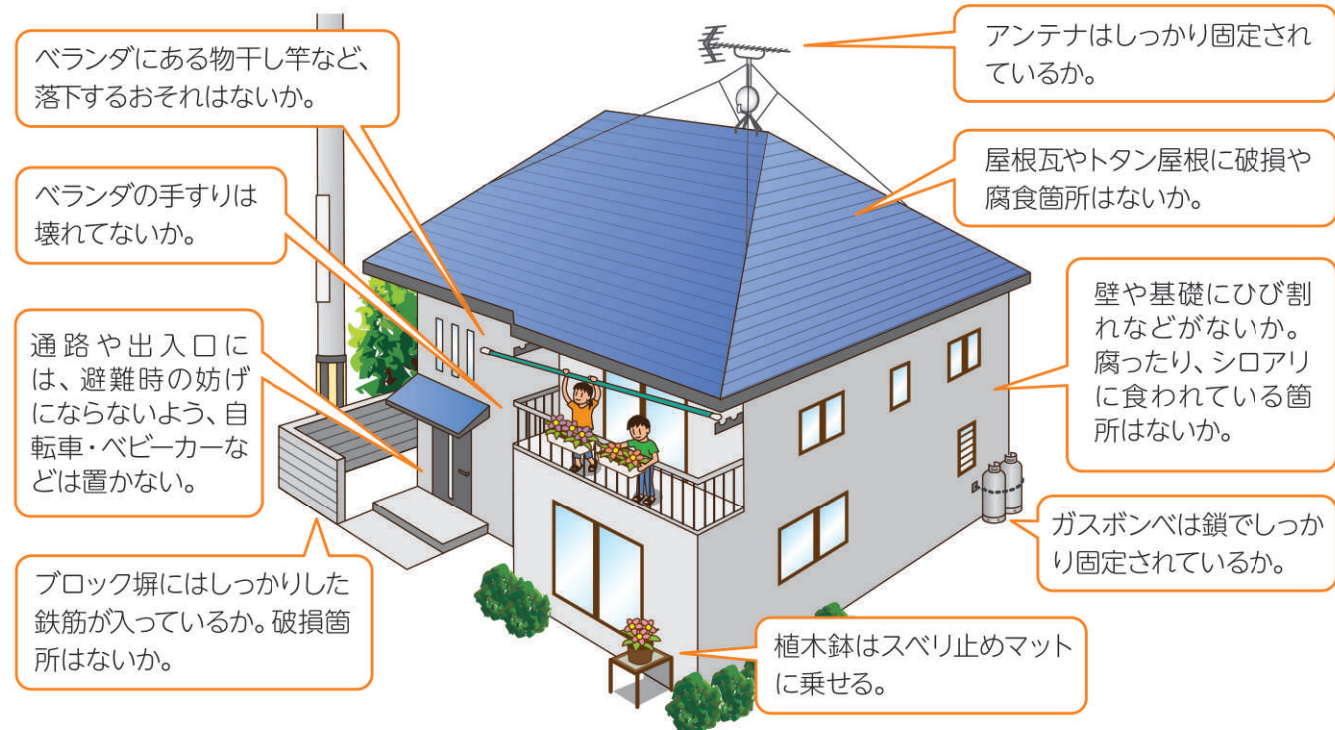
継続的に体温を測定し、体調の変化を感じた場合にはすぐに避難所運営者等に相談しましょう。



我が家の備え (地震対策)

地震対策は行政だけではできません。個人の生命や財産を守るためには、皆さん一人ひとり、あるいは家族が協力して日頃から備えておく必要があります。建物やその周りにあるもの、家の中の家具やガラスなど、地震に対する安全性についてチェックし、補強や配置換えなどを行っておきましょう。

家の周り、家の中の安全点検



安全のために

- 大きな家具は、人の出入りの少ない部屋にまとめて置くようにする。
- 避難のとき妨げになるため、玄関や廊下には家具や荷物を置かない。
- 子どもや高齢者のいる部屋や寝室には、倒れやすい大きな家具は置かない。
- 重量のある家電製品は、できるだけ低い位置に設置する。



震災時の注意

あわててむやみに行動するとかえって危険です。緊急地震速報を活用したり、報道等で正しい情報を入手し、冷静に状況を判断して的確な行動をしましょう。

地震発生!そのときどうする?

まず身の安全を

頭を保護し、丈夫な机の下などに身を隠します。家具の転倒や落下物に十分注意します。



すばやく火の始末

動けるようであれば、すばやくガスやストーブなどの火を消し、元栓を閉めます。万が一出火しても天井に燃え移る前に、あわてず消火をします。



戸を開けて出口の確保

揺れでドアが開かなくなることもあります。玄関、部屋のドア、窓などを開けて避難口を確保します。



あわてて外に飛び出さない

急に外に飛び出して交通事故に遭ったり、外ではガラスや瓦などが落ちてくる可能性があります。冷静に状況を判断します。



近くにケガ人がいたら

地域みんなで助け合い、救出活動や応急救護に協力します。高齢者や障害者、ケガ人などに声を掛け、みんなで助け合います。



周囲の状況に応じて

人が大勢いる施設では

あわてて出口に走り出さないで、係員の指示に従って落ちついて行動します。



屋外にいた場合

ブロック塀や自動販売機の転倒、看板やガラスの落下に注意します。ビルなどの建物から離れ、持ち物などで頭を守り、近くの公園や広い場所に避難します。



エレベーターでは

直ちに各階のボタンを全て押し、停止した階ですぐに降ります。停電などで閉じ込められた場合は、非常ボタンを押し続け外部に助けを求めます。



自動車運転中は

大きな揺れを感じたら、あわててスピードを落とさずに、ハザードランプを点滅させて周りの車に注意を促します。急ブレーキはかけず、緩やかに速度を落とし、道路の左側に停止します。



鉄道・バス乗車中は

つり革や手すりにしっかりつかまります。停車後は、係員の指示に従って落ちついて行動します。



出火したら

すばやく消火

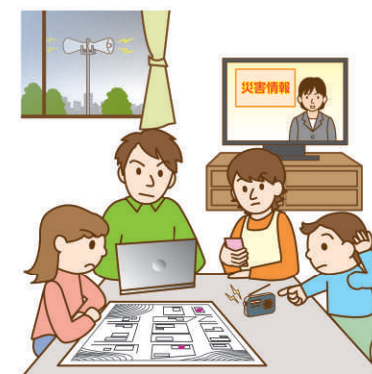
火の小さい初期段階であれば、自分たちの手で消火できます。周囲の人に大声で知らせ、備えてある消火器のほかに風呂の残り湯なども利用し、協力して消火しましょう。天井に火が燃え移ったら危険です。身の安全のため、すばやく避難しましょう。



正確に情報を伝えるためには

情報伝達の4原則

- 何を伝えるのかを明確にして、情報の優先順位を考えましょう。
- 「いつ、どこで、なにが、なぜ、どのように」を明確にして、分かりやすい内容にしましょう。
- 正確な情報だけ伝えましょう。
- 情報の出所を明確にしましょう。



我が家の防災メモ

避難所【地震】	避難場所【地震】
その他 家族の決まりごと	

● 家族の連絡先

名前	血液型	電話番号	会社・学校名	会社・学校の連絡先
	型			
	型			
	型			
	型			

● 親戚・知人宅(支援してくれる人)の連絡先

名前	連絡先

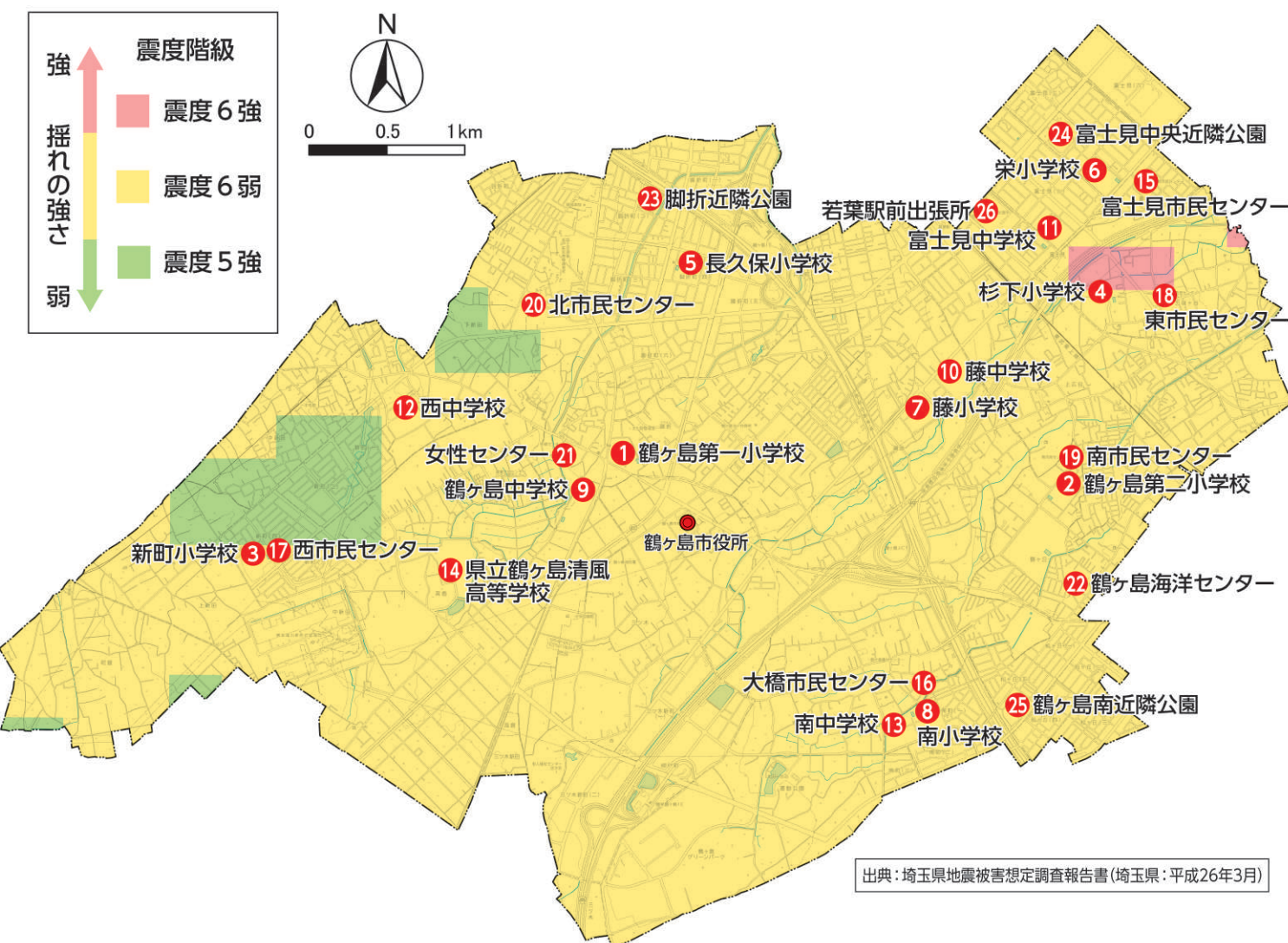


揺れやすさマップ

揺れやすさとは、地震による地表での揺れの強さ(震度)で、主に地震の規模(マグニチュード)、震源からの距離及び表層地盤によって異なります。一般には、マグニチュードが大きいほど、また、震源から近いほど、地震による揺れは大きくなりますが、表層地盤の違いにより揺れの強さは異なります。

この揺れやすさマップは、本市に最も大きな影響を及ぼす地震である「関東平野北西縁断層帯(破壊開始地点：中央)」で、マグニチュード 8.1 の地震が発生した場合に、地層地盤も考慮した揺れやすさを表したものです。

- ・地域の予想される揺れ(最大震度)を 250m 単位で分割したメッシュ(網目)ごとに表示しています。
- ・地盤の状況と起こりうる想定地震の両面から、揺れやすさを震度として評価したものです。

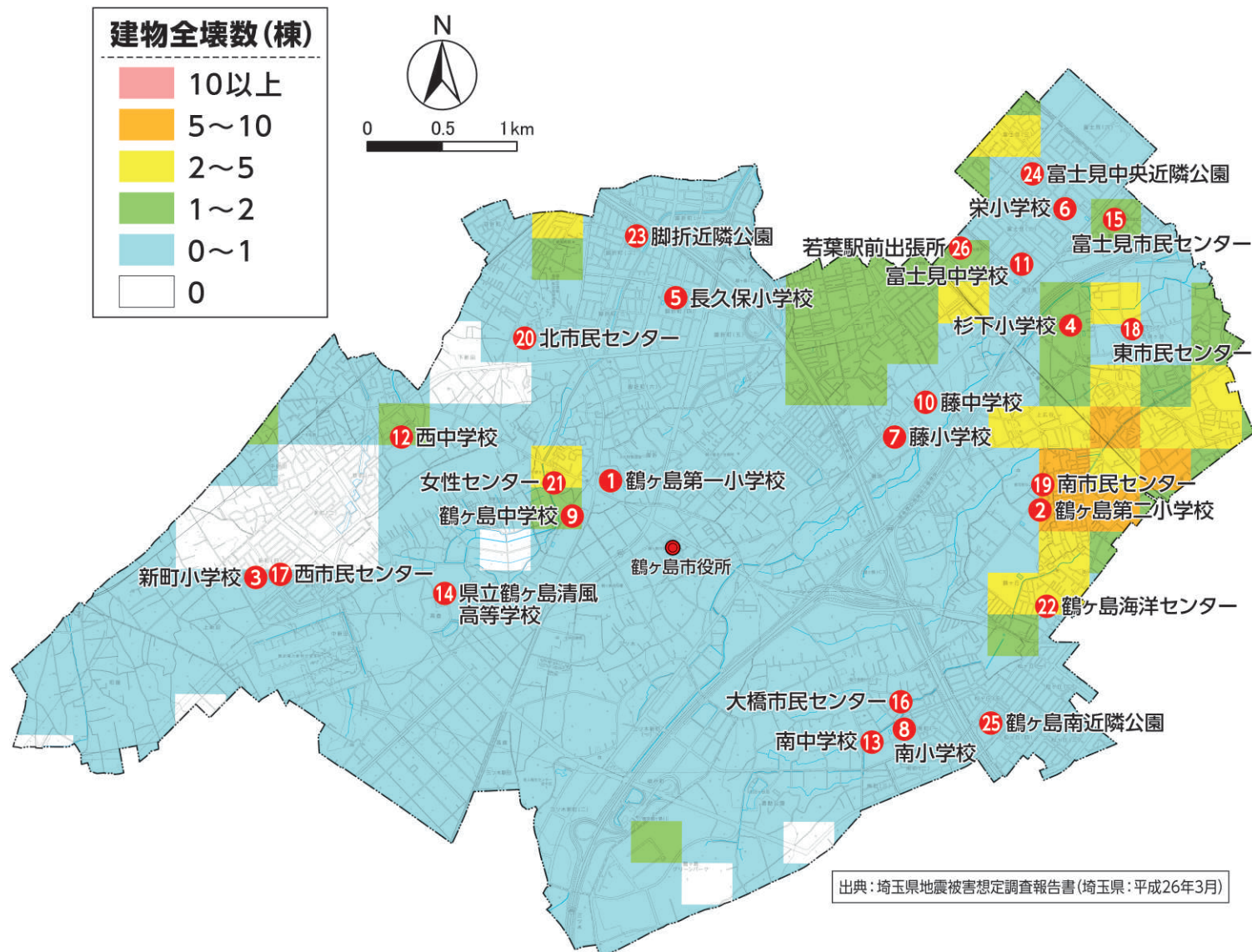


建物倒壊危険度マップ

建物倒壊危険度とは、建物の構造、建築年次と過去の地震による被害を踏まえ、地震の被害を想定したものです。

この建物倒壊危険度マップは、本市に最も大きな影響を及ぼす地震である「関東平野北西縁断層帯(破壊開始地点：中央)」で、マグニチュード 8.1 の地震が発生した場合の建物倒壊の危険度を表したものです。

- ・地域の予想される建物倒壊数(棟)を 250m 単位で分割したメッシュ(網目)ごとに表示しています。
- ・予想値を表示したもので、実際に「倒壊する」又は「倒壊しない」とは限りません。



液状化マップ

液状化とは、地震の際に地下水位の高い砂地盤が振動により液状化する現象です。埋立地や河口など砂質の地盤で起こり、地盤の上の建物を傾けさせたり、又は沈ませたり浮き上がらせたりします。この液状化マップは、「関東平野北西縁断層帯(破壊開始地点：中央)」で、マグニチュード 8.1 の地震が発生した場合の液状化の危険度を表したものです。



建物、橋、電気・ガスなどのライフライン施設に影響を及ぼす液状化の大きさを判定したものです。

- 高い
- やや高い
- 低い
- 極めて低い

出典：埼玉県地震被害想定調査報告書(埼玉県：平成26年3月)



鶴ヶ島市の水害の特徴

市内には、山や大きな河川がなく平坦な地形ですが、住む地域によって、水害の発生傾向が異なります。

洪水浸水想定区域

坂戸市を流れる高麗川がはん濫した場合に、羽折町の一部が浸水すると想定されています。

大谷川都市下水路、飯盛川都市下水路などの水路近く

水路のはん濫によって、道路や建物の中に水が浸入するなどの被害が想定されています。

市街地

周辺より低い場所やアンダーパスなどに雨水が溜まって起きる内水はん濫が想定されています。

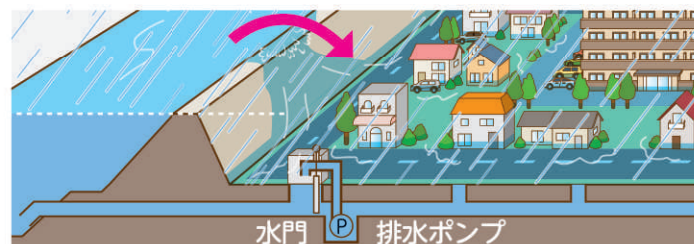


水害の仕組み

水害には、外水はん濫と内水はん濫があります。本市の水害の多くは、内水はん濫によるものです。

がいすい 外水はん濫

外水はん濫とは、大雨によって河川の水位が堤防を越えて水があふれたり、堤防が決壊したりすることで、水害が発生することです。



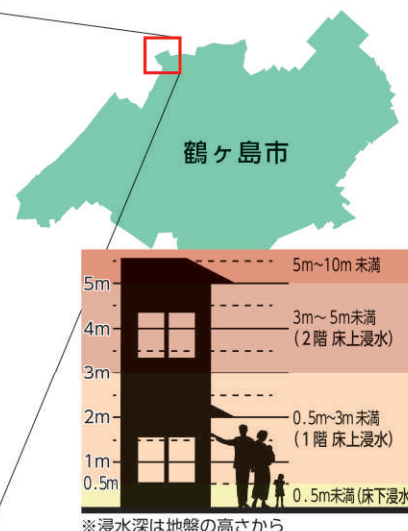
ないすい 内水はん濫

内水はん濫とは、排水ポンプによる排水能力が追いつかないときに雨水を排水できなくなり、水害が発生することです。本市で起こりやすい水害です。



洪水浸水想定区域（水防法に基づくものです。）

河川を管理する国や都道府県が、降雨により河川がはん濫した場合に浸水する危険性が高い場所を示した区域です。鶴ヶ島市では、3日間に632mmの大雨が降り続いて、坂戸市を流れる高麗川がはん濫した場合に、羽折町の一部（黄色に塗られている地域）が50cm程度、浸水すると予想されています。



※市内には山や大きな河川がありませんので、土砂災害警戒区域はありません。



「風水害避難行動判定フロー」を確認しよう！

平常時に 確認

予兆なく地域全体が一斉に被災する地震災害と異なり、風水害は事前に予測が可能です。「自分の命は自分が守る」意識を持ち、とるべき避難行動を確認しましょう。



市内には大きな河川は流れておりませんが、坂戸市を流れる高麗川のはん濫により羽折町の一部地域に洪水浸水被害が想定されています。また大雨時に排水しきれない雨水(内水)による道路の冠水や一部地域の浸水被害も想定されています。

あなたがとるべき避難行動は？

地図上で自宅がどこにあるか確認しましょう。

15ページ「洪水浸水想定区域」、
19～26ページ「内水ハザードマップ」

地図上で自宅に色が塗られていますか？

YES

黄色に塗られている
15ページ
「洪水浸水想定区域」

坂戸市を流れる高麗川
の状況に応じ、
避難情報が発令さ
れます。

YES

黄緑色に塗られている
19～26ページ
「内水ハザードマップ」

雨の状況により自宅や自宅の庭先が浸水する可能性があります。状況を注視し、必要に応じ避難してください。

NO

NO

自宅で避難

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地にお住まいの方は、必要に応じ避難してください。
※避難の選択肢参照

自宅から出てすぐの周辺道路は
赤色に塗られていますか？
19～26ページ
「内水ハザードマップ」

YES



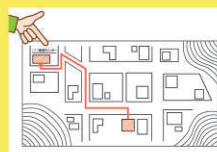
避難の選択肢

1. 自宅で避難：浸水しても水が引くまで我慢できる場合は、自宅で避難をお願いします。
2. 親戚・知人宅へ避難：台風接近前など初期段階で避難できる場合は、早期避難をお願いします。
3. 垂直に避難：夜間や豪雨時に外へ避難するのは危険です。自宅の2階以上に避難してください。

※自宅にすることが不安なときは、市役所ホームページを見るなど、自主避難所の開設状況を確認の上、自主避難所へ避難をお願いします。避難する際は、内水ハザードマップで道路の冠水箇所を確認し、安全な経路を徒歩で避難するようお願いします。また、ご家族・ご近所と協力して、より安全な避難行動をとりましょう。



5段階の警戒レベルと防災情報

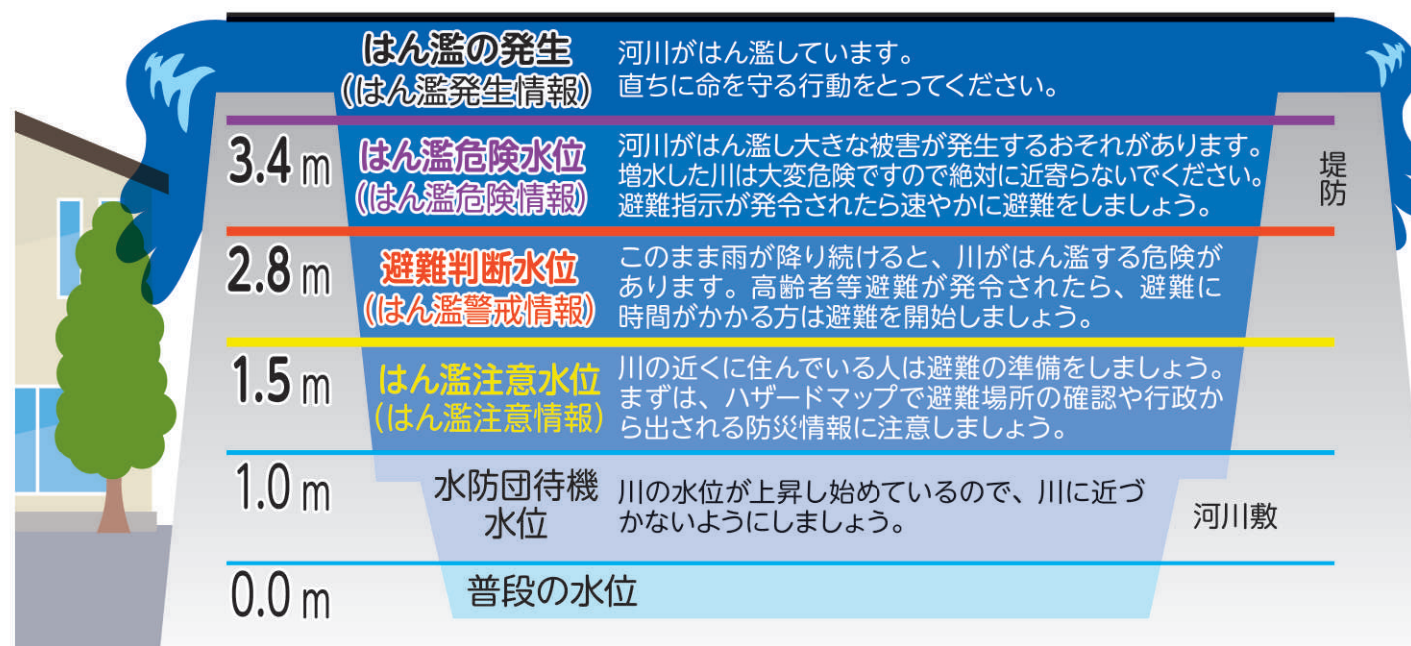
警戒レベル	避難情報等	皆さんが取るべき行動
5	緊急安全確保 (市が発令)	既に災害が発生している状況です。 命を守るための最善の行動をとりましょう。
~~~~~<警戒レベル4までに必ず避難!>~~~~~		
4	避難指示 (市が発令)	速やかに危険な場所から避難先へ避難しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。
3	高齢者等避難 (市が発令)	避難に時間を要する人(高齢者、障害者、乳幼児等)とその支援者は避難しましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。
2	大雨注意報 洪水注意報 (気象庁が発表)	避難に備え、ハザードマップ等により、 自らの <b>避難行動を確認</b> しましょう。 
1	早期注意情報 (気象庁が発表)	災害への心構えを高めましょう。 

※必ずこの順番で発令されるとは限らないので注意してください。

※これらの情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は避難を始めてください。

### 河川水位について

市では、坂戸市を流れる高麗川の水位(坂戸水位観測所)の状況に応じて、一部の地域(羽折町周辺)に避難情報を発令します。市から避難情報が発令されたときには速やかに必要な避難行動をとってください。



## 風水害時の避難で重要なこと

### 避難時の心得

#### ▶ 流れる水路などに近づかない!

日常生活では、水にさまざまな恩恵を受けています。しかし、災害時の水は水流・水量などいつもと同じ優しい顔を見せてはくれません。興味本位で増水した水路などに近づくことは極めて危険です。絶対に近づかないようにしましょう。



#### ▶ 垂直に避難!

夜間や豪雨時に外出し、二次災害で亡くなった方もいます。無理に避難所へ行くことはかえって危険です。自宅の2階などへ垂直に避難しましょう。



#### 避難するときはこんな格好で

ヘルメット(又は帽子)をかぶる  
傘やつえ(足元を確認するため)  
軍手や手袋を着用する  
非常時持出品はリュックサックに入れて背負う  
長そで・長ズボン着用  
靴は底の厚い、はき慣れたものをはく(長靴は履かない)

### 竜巻や雷から身を守るには

#### ● 雷から身を守る

- 建物や車に避難する。
- 平たんな畑や広場などでは姿勢を低くする。
- 傘、釣竿、ゴルフクラブなど長い物は持たない。
- 樹木や電柱には近づかない。



#### 竜巻発生確度 ナウキャストとは

気象庁は、竜巻の発生確度を1時間先まで予測したデータを公開しています。データは10分ごとに更新して提供されています。

竜巻発生確度ナウキャスト 検索

#### ● 竜巻から身を守る

竜巻は突然発生します。竜巻の特徴を知り、すばやく身を守る行動をとりましょう。

##### 建物内にいる場合



- 1階の窓のない部屋に移動する。
- 雨戸・カーテンを閉め、窓から離れる。
- 机やテーブルの下に入るなど、身を小さくして頭を守る。

##### 屋外にいる場合



- 頑丈な建物の中に駆け込む。駆け込める建物がない場合は、できるだけ頑丈な構造物の陰に入り、身を小さくする。
- 物置やプレハブの中には入らない。
- 太い樹木や電柱には近づかない。





# 内水ハザードマップ

## 内水ハザードマップとは…

大雨や集中豪雨などの内水はん濫により、被害が発生するおそれのある区域や避難場所などを表示しているものです。  
 平常時から危険箇所を確認することで、いざという時に適切な避難行動を知っていただくものです。

## 自主避難所とは…

自宅にすることが不安な時に、自主的に避難する際の施設です。台風や大雨などの際に、市が避難所開設の要否を判断し必要に応じて準備します。

### 避難所開設の考え方

- 「避難」とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人は、避難所に行く必要はありません。
- 自身と自宅の安全が確保できたら、自宅で生活続ける「在宅避難」をしましょう。また、安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。

## 水害の記録 (平成25年4月～令和5年3月までの情報)

### 道路冠水

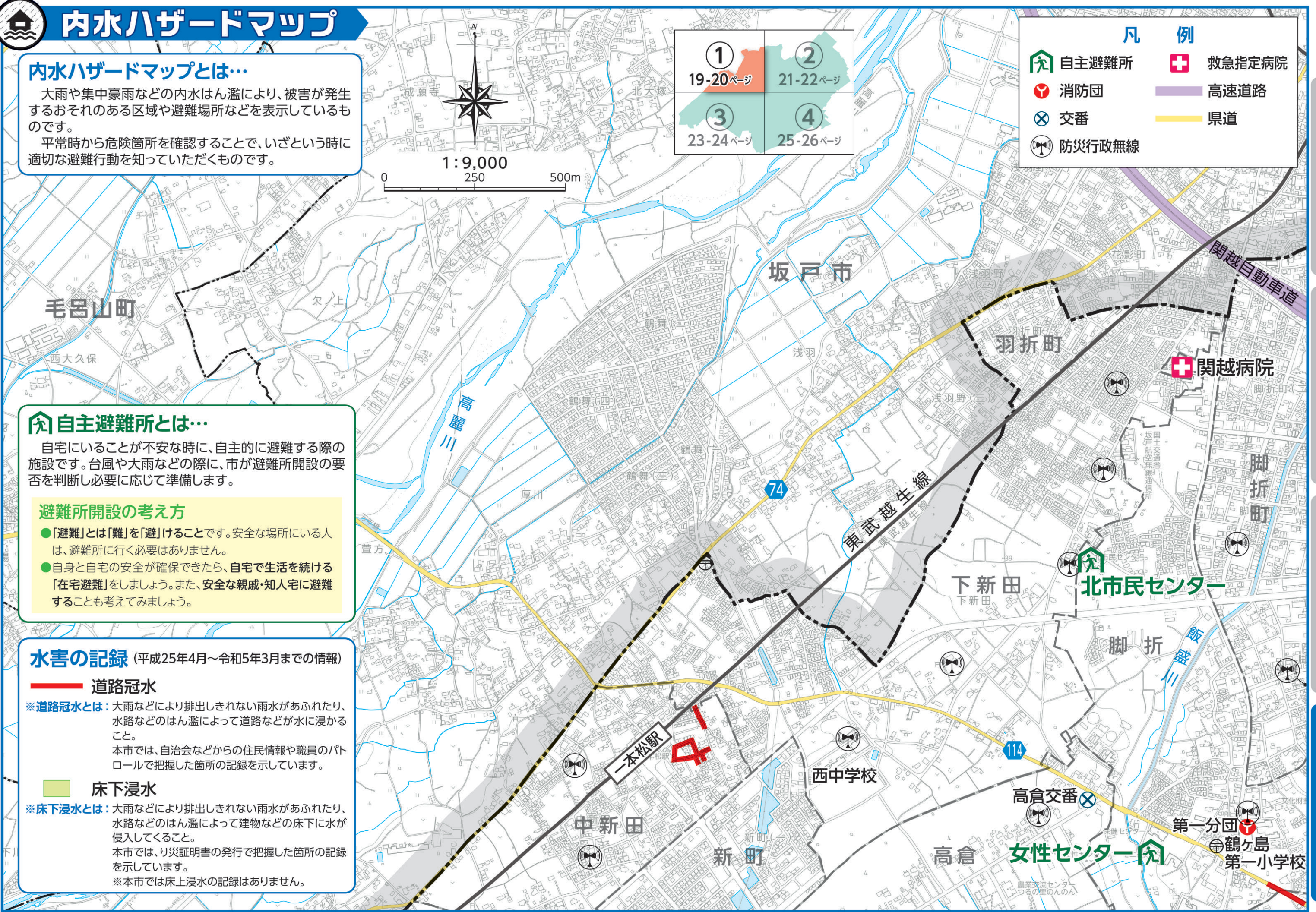
※道路冠水とは：大雨などにより排出しきれない雨水があふれたり、水路などのはん濫によって道路などが水に浸かること。  
 本市では、自治会などからの住民情報や職員のパトロールで把握した箇所の記録を示しています。

### 床下浸水

※床下浸水とは：大雨などにより排出しきれない雨水があふれたり、水路などのはん濫によって建物などの床下に水が侵入してくること。  
 本市では、り災証明書の発行で把握した箇所の記録を示しています。  
 ※本市では床上浸水の記録はありません。

① 19-20ページ	② 21-22ページ
③ 23-24ページ	④ 25-26ページ

凡 例	
自主避難所	救急指定病院
消防団	高速道路
交番	県道
防災行政無線	



避難 備え・注意

地震

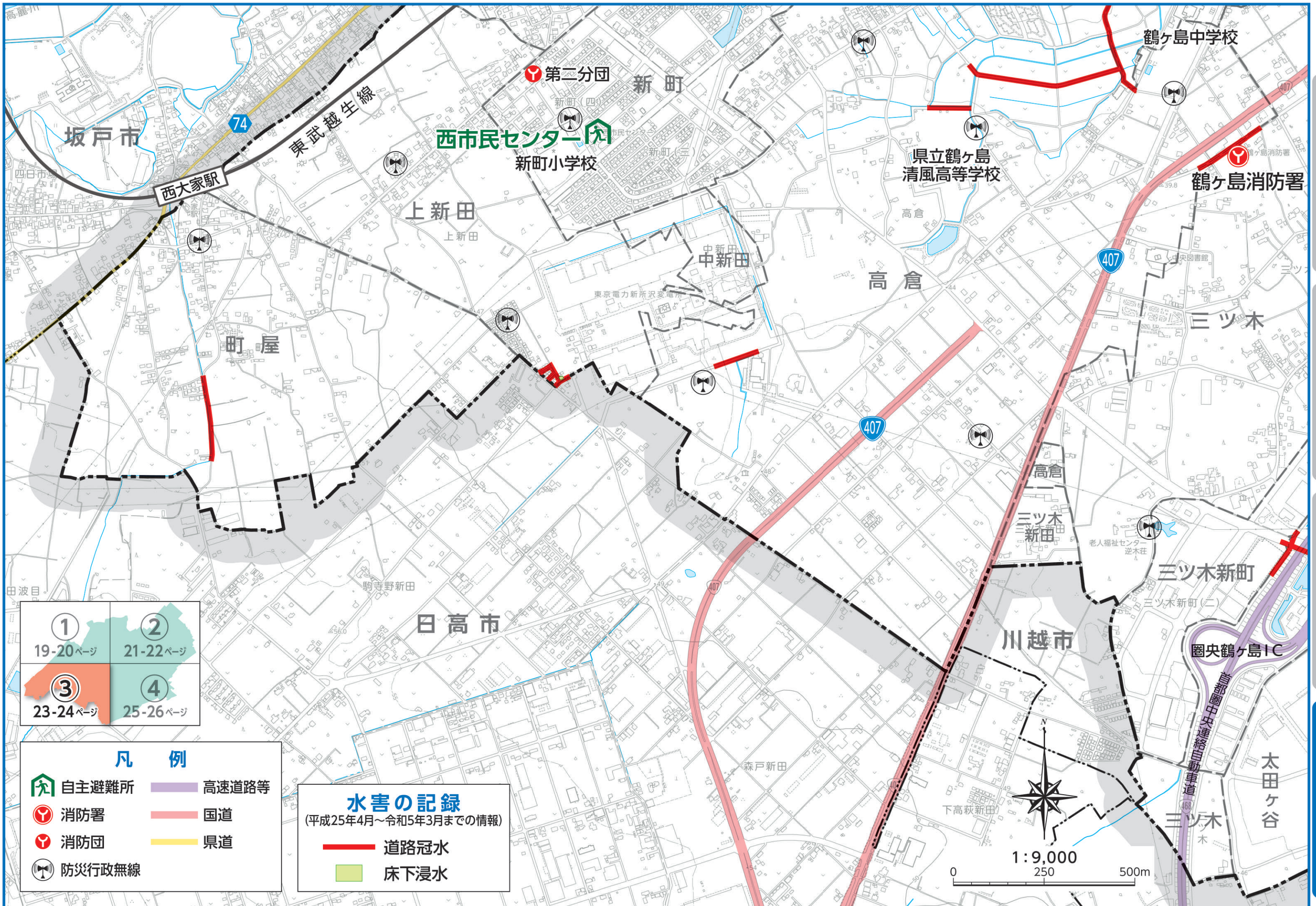
風水害

内水ハザードマップ

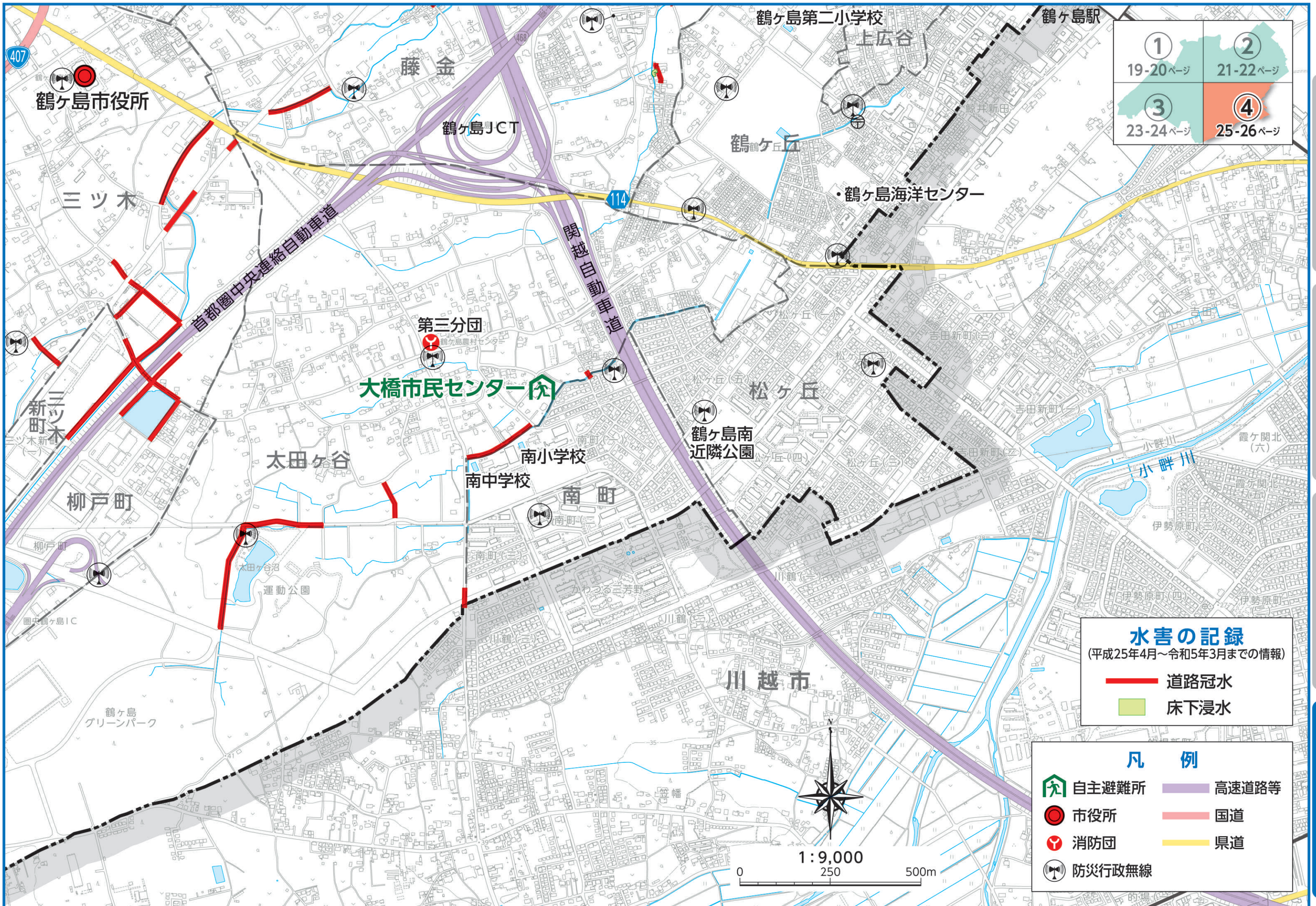












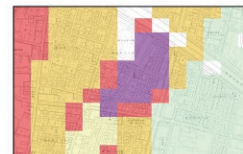
① 19-20 ページ	② 21-22 ページ
③ 23-24 ページ	④ 25-26 ページ



# ① 災害時の情報収集 — 防災情報や災害情報を調べる —

  ■ 鶴ヶ島市公式アプリ「つるポッケ」 アプリをダウンロードすると災害情報などがプッシュ型通知で配信されます。 <a href="https://www.city.tsurugashima.lg.jp/page/page009855.html">https://www.city.tsurugashima.lg.jp/page/page009855.html</a>	  ■ つるがしまメールマガジン 登録したメールアドレス宛てに防災行政無線の放送内容や災害情報を配信するサービスです。 <a href="https://www.city.tsurugashima.lg.jp/mm_pro/">https://www.city.tsurugashima.lg.jp/mm_pro/</a>
■ 鶴ヶ島市ホームページ <a href="https://www.city.tsurugashima.lg.jp/">https://www.city.tsurugashima.lg.jp/</a>   	■ 鶴ヶ島市公式ツイッター 「# 鶴ヶ島市災害」で災害情報を収集できます。 <a href="https://twitter.com/tsurugashima">https://twitter.com/tsurugashima</a>   
  ■ 埼玉県ホームページ <a href="https://www.pref.saitama.lg.jp/">https://www.pref.saitama.lg.jp/</a>	  ■ 埼玉県防災情報メール 登録すると埼玉県の防災情報がメールで配信されます。 <a href="http://saitamapref.bosai.info/bosaimail/index.html">http://saitamapref.bosai.info/bosaimail/index.html</a>
■ 国土交通省 川の防災情報 <a href="https://www.river.go.jp/">https://www.river.go.jp/</a>  	■ 気象庁 発表中の警報・注意報、地震情報や災害危険度(大雨、土砂災害、洪水)に応じて5段階に色分けされた地図など様々な情報が記載されています。 <a href="https://www.jma.go.jp/jma/index.html">https://www.jma.go.jp/jma/index.html</a>  

📍 鶴ヶ島市公開型地理情報システム「つるがしまっぷ」  
市内のハザードマップ情報をインターネットの地図上で確認することができます。  
<https://www2.wagmap.jp/tsurugashima/Portal>  
※スマートフォンでも閲覧可能ですが、パソコンでの閲覧をお勧めします。

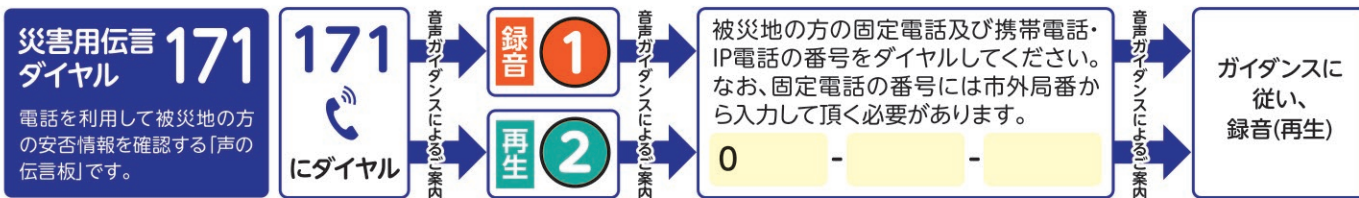


## 災害用伝言ダイヤルの使い方

●災害用伝言ダイヤルとは？ NTTでは、災害発生時に、被災地への通話がつながりにくい状況の場合、被災地内の安否等の情報を音声で録音、再生する「災害用伝言ダイヤル」を設置します。

伝言の録音	171-1-XXXX-XX-XXXX (被災地の方の電話番号)	伝言保存期間	運用期間終了まで
伝言の再生	171-2-XXXX-XX-XXXX (被災地の方の電話番号)	伝言蓄積数	1電話番号当たり1~20件
伝言内容	1伝言あたり30秒以内	利用可能電話	固定電話、IP電話(050含む)、携帯電話

●あなたの無事を伝えましょう 体験利用日：「毎月1日及び15日」、「正月三が日」、「防災週間」、「防災とボランティア週間」



鶴ヶ島市役所 総務部 危機管理課  
〒350-2292 埼玉県鶴ヶ島市大字三ツ木16番地1  
TEL:049-271-1111 FAX:049-271-1190